



## ベトナムの亀伝説

北陸銀行 国際部  
ホーチミン駐在員事務所 開設準備委員  
グエン・ゴク・ビン・アン

### 1. はじめに

ベトナムでは、神聖な生き物として「亀」が崇拝されており、苦難の独立史の象徴としても「亀」にまつわる様々な伝説が語り継がれています。なかでもベトナムの学校で教えられている『築城伝説』と『還剣伝説』は、国民のだれもが知っている有名なストーリーです。この2つの伝説について皆さまにご紹介したいと思います。

### 2. 『築城伝説』について

ベトナムでは古くからキン族(ベトナムの人口の約86%を占める民族)の祖先は、竜神と山の妖精の子孫フン王であるという言い伝えがあります。フン王の帝国が崩壊した後、安陽王が国を支配します。安陽王は何度も何度も築城を試みますが、そのたびに悪霊によって城が破壊される不運に見舞われました。国民に動揺が広がるなか、安陽王は宗教儀式を行い、神の加護を求めます。するとそこに「金の亀の神」が現れ、安陽王に城を破壊する悪霊を退治するための秘法を伝授します。また「金の亀の神」は安陽王に自分の爪を贈り、侵略者から国を守るため石弓を作るように命じます。その石弓は一本の矢で数千の敵を打ち落とすことができる能力を有し、「亀の石弓(魔法の石弓)」と呼ばれました。安陽王は「金の亀の神」のおかげで築城に成功したということです。

### 3. 『還剣伝説』について

「金の亀の神」にまつわるもう一つの伝説は、ベトナムが中国の明朝に支配されていた15世紀の話になります。「金の亀の神」がレ・ロイ(黎朝初代皇帝)に対して明朝と戦うための武器「聖剣」を与えました。レ・ロイは明朝との戦いで見事に勝利を収めて、自分が皇帝になることを宣言します。平和な日々が続いていたある日、レ・ロイがハノイの大きな湖を散歩していると、湖から神の使いである大亀が現れてレ・ロイに「聖剣」

を持ち主である竜神に返すよう命じ、その「聖剣」を湖の底に持ち帰ったという物語です。のちにこの大きな湖はホアンキエム湖と呼ばれるようになりました。ホアンキエム湖は漢字で「還剣湖」と表記されるとおり「剣を返す湖」を意味します。

ホアンキエム湖畔には「玉山祠」や「亀塔」があり、玉山祠にはホアンキエム湖で発見された重さ250キロの巨大な亀の剥製が展示されています。また、この湖には絶滅危惧種であるスッポンが泳いでおり、ベトナム人にとってこのスッポンを見ることは非常に縁起が良いこととされています。

現在、ハノイではホアンキエム湖に生息する伝説の亀についての研究が続けられています。研究の過程で、伝説に出てくる亀の種類は世界に3頭しかいないことが証明されています（ベトナムに2頭、中国に1頭）。



【左写真：ホアンキエム湖、右写真：玉山祠（筆者撮影）】

#### 4. おわりに

ベトナム国民にとって、亀は知恵と長寿と成功の象徴とされています。ベトナムにある多くの寺院には亀を育てるための池があり、参拝者はそこで祈りを捧げます。

私が日本に住んでいたとき、小さい黒い亀の置物を購入したことがあります。日本人にとって亀の存在はどのようなものなのか分かりませんでした。ベトナム人にとって亀は特別な存在なので置物を見つけた時はとても嬉しかったのをよく覚えています。

以上

<ご注意>文中意見は筆者の個人的見解であり、北陸銀行としての見解の反映ではありません。当レポートは作成時点の経済状況に基づき、情報提供のみを目的に作成したものです。

記載内容についてはご利用者のご判断と責任のもと、ご利用くださるようお願いいたします。

ほくりく長城会

長城メール

発行：北陸銀行 ほくりく長城会事務局  
〒920-0024 金沢市西念1-1-3 コンフィデンス4F  
((株)人材情報センター内)  
TEL: (076)254-6500 FAX: (076)254-6565  
E-mail: info@chojo-hokugin.jp